

資格スクエア presents 2021

令和 3 年度司法書士試験分析会

担当 三枝りょう

1 はじめに

年度	受験申請者数（出願者数）	前年比
03	14,988 名	557 名
02	14,431 名	▲2380 名
31	16,811 名	▲ 857 名
30	17,668 名	▲1163 名
29	18,831 名	▲1529 名
28	20,360 名	▲1394 名
27	21,754 名	▲2784 名
26	24,538 名	▲2862 名
25	27,400 名	▲1979 名
24	29,379 名	▲1849 名
23	31,228 名	▲1938 名
22	33,166 名	
21	32,558 名	
20	33,007 名	
19	32,469 名	
18	31,878 名	

< 択一問題形式（午前） >

	組合せ	単純正誤	個数算定	判旨	参考条文	推論型	備考
03	34	1	0	20	3	0	
02	35	0	0	17	5	0	
31	31	4	0	21	2	1	
30	32	3	0	26	3	0	
29	30	4	1	19	1	0	
28	28	5	2	21	1	0	
27	33	0	2	20	1	0	6問肢2行目訂正
26	29	1	5	21	6	2	
25	30	2	3	21	1	3	
24	27	5	3	25	1	1	
23	31	2	2	17	2	3	
22	30	1	4	15	3	5	33問正解2つ
21	33	2	0	19	8	8	
20	35	0	0	14	3	7	
19	34	1	0	13	1	4	

< 択一問題形式（午後） >

	組合せ	単純正誤	個数算定	判旨	参考条文	推論型	備考
03	34	1	0	2	3	0	
02	34	1	0	6	0	0	
31	35	0	0	3	2	0	
30	35	0	0	5	2	0	
29	34	1	0	3	1	0	
28	33	1	1	6	3	0	
27	29	3	3	3	0	0	
26	27	1	7	7	1	0	
25	28	5	2	5	2	0	
24	29	3	3	2	0	1	
23	31	2	2	2	4	0	
22	32	0	3	1	1	1	9 問正解なし 35 問訂正
21	30	2	3	3	4	1	
20	33	0	2	2	2	2	29 問正解 2 つ
19	32	1	2	2	0	0	

2 午前択一

2-1 特記事項

- 1問（第29問）を除き、すべて組み合わせ型問題かつ知識問題であった。
- 刑法を除く全科目通じて短文の出題が多かった。
- 後へ行くほど高難度な問題が多かった。

2-2 憲法

1	人権各論	思想・良心の自由又は信教の自由	参考条文
2	人権各論	経済的自由権	参考条文
3	統治機構	内閣	対話

【ポイント】

すべてスピーディに（効率よく）解くことができたか
取るべき問題 1, 2, 3

2-3 民法 総則

4	総則(人)	成年後見制度	
5	総則(意思表示)	錯誤	
6	総則(時効)	消滅時効	

【ポイント】

判例問題なし
すべて時間をかけずに解くことができたか
取るべき問題 4, 5, 6

2-4 民法 物権総論・用益物権

7	物権	土地所有権又は賃借権に基づく請求権	
8	物権	物権変動	
9	物権	占有訴権	
10	用益物権	地上権又は地役権	

【ポイント】

本分野からは4問出題（一昨年は5問）
用益権から2年空けて久しぶりの出題
取るべき問題 7, 8, 9, 10

2-5 民法 担保物権

11	担保物権	先取特権	
12	担保物権	権利質	
13	担保物権	抵当権の効力（財物上代位）	
14	担保物権	根抵当権	
15	担保物権	譲渡担保権	

【ポイント】

頻出論点が多い

質権は3年連続の出題

午前13問肢エと午後21問肢ア

取るべき問題 11, 12, 13, 14

2-6 民法 債権総論・各論

16	債権総論	弁済	対話
17	債権総論	相殺	
18	債権各論	売買（イオ契約不適合責任）	
19	債権各論	賃貸借	

【ポイント】

債権総論各論から2問ずつで例年どおり

頻出論点について改正民法が問われている

午前18問肢アと午後4問肢ア

取るべき問題 16, 18, 19

2-7 民法 親族・相続

20	親族	婚姻又は離婚	
21	親族	親権	
22	相続	遺贈又は相続	
23	相続	遺言執行者	

【ポイント】

親族2問・相続2問は、例年どおり

取るべき問題 20, 21, 22

2-8 刑法

24	刑法総論	故意	
25	刑法総論	強盗罪	
26	刑法各論	盗品等に関する罪	参考条文

【ポイント】

頻出論点が多い

取るべき問題 24, 25 又は 26

2-9 会社法・商法

27	設立	株式会社の設立	
28	株式	株式等売渡請求	
29	予約権	新株予約権	単純正誤
30	機関	会計参与設置会社	
31	機関	監査等委員会設置会社	
32	組織再編	株式会社の事業譲渡等	
33	持分会社	持分会社	
34		会社の公告	
35	商行為	倉庫営業	

【ポイント】

総じて難度が高い

取るべき問題 27, 29, 33, 34

3 午後択一

3-1 特記事項

→ 26問を除き、すべて組み合わせ型問題、推論型問題なし

→ 例年以上に図表問題、登記記録問題が多い

3-2 民事訴訟法，民事執行法，民事保全法

1	民訴	当事者	訴訟能力又は法定代理	
2	民訴		期日又は期間	
3	民訴	口頭弁論	訴訟行為の方式(口頭主義)	
4	民訴	証拠調べ	書証	判例の趣旨
5	民訴	訴訟の終了	第一審の判決又は決定	判例の趣旨
6	民保	全般	民事保全手続全般	
7	民執	全般	民事執行手続全般	

【ポイント】

民事執行法・民事保全法は、いずれも手続全般からの出題

取るべき問題 1, 3, 4, 6

3-3 司法書士法

8	業務	司法書士又は司法書士法人の業務	
---	----	-----------------	--

【ポイント】

業務から平成30年以後の出題

取るべき問題 8

3-4 供託法

9	総論	供託所の管轄	
10	各論	弁済供託	
11	供託手続	供託金の利息の払渡し	

【ポイント】

頻出論点以外からの出題が多い

取るべき問題 9, 10

3-5 不動産登記法（その1）

12	登記の申請	
13	官公署が行う登記の嘱託	
14	職権による登記の抹消	図表問題
15	所有権の登記の目的及び原因	図表問題
16	図面等の添付情報	図表問題
17	登記識別情報の通知の有無	

【ポイント】

総論分野が中心だが、いずれも図表又は長文問題で解くのに時間がかかる
取るべき問題 12, 15, 17

3-6 不動産登記法（その2）

18	所有権の移転登記	
19	相続又は遺贈を原因とする所有権移転登記	
20	所有権登記の抹消	
21	抵当権の設定登記の抹消	参考条文
22	根抵当権の元本確定登記	

【ポイント】

各論分野が中心だが、いずれも文章量が多い
取るべき問題 18, 19, 20, 21, 22

3-7 不動産登記法（その3）

23	敷地権付き区分建物の登記	登記記録・参考条文
24	配偶者居住権の登記	
25	不正な登記の防止	単純正誤
26	仮登記にかかる登録免許税	
27	登録免許税	

【ポイント】

24問、25問は、1問まるごとは初出の論点だが、今後も出題可能性はある
取るべき問題 24, 25, 27

3-8 商業登記法

28	設立	発起設立	
29	機関	株式会社の役員等の変更登記	
30	株式	募集株式の発行による変更登記	
31	組織再編	吸収合併による変更登記	
32		種類株式発行会社でない会社の株主リスト	参考条文
33	持分会社	持分会社の登記	
34	法人登記	一般財団法人の登記	
35	登録免許税	登録免許税	図表

【ポイント】

オーソドックスな出題が多かった

取るべき問題 28, 29, 30, 33, 34, 35

4 記述式

別紙参照

5 今後のスケジュール

多肢択一式問題の正解及び基準点の発表日

令和3年8月16日（月曜日）

筆記試験の結果発表日

令和3年10月11日（月曜日）

口述試験の期日

令和3年10月25日（月曜日）

最終合格者の発表日

令和3年11月12日（金曜日）